



プレスリリース

2025年12月9日

マレリ、自動車向けの手頃な5G RedCap技術を先駆けて導入

自動車業界向けのグローバル・テクノロジー・サプライヤーであるマレリは、車載テレマティクス向けの画期的な「手頃な5G RedCap（Reduced Capability：機能縮小）技術」を発表します。この技術は、4Gと比べて50%高いデータ速度（レート）、2.5倍低い遅延（レイテンシ）を実現しながら、価格は同等の水準を維持します。

手頃な5G RedCapは、すでにコネクテッド・デバイスやウェアラブル端末で採用されている5G技術の簡素化バージョンです。マレリはこの技術を自動車分野向けに応用し、従来よりも高速なデータ送信、低レイテンシ、ハードウェアの簡素化、省電力性を提供します。これらは、電気自動車やコネクテッド・カーにとって重要なメリットです。また、この新ソリューションは従来型の5Gの手頃な代替案にもなり、2030年以降に一部地域で開始が見込まれる4Gネットワークの段階的廃止にも対応します。加えて、マレリは主要なテレマティクス・モジュール・サプライヤーと密接に連携し、次世代テレマティクスが米国のハードウェア・ソフトウェア規制やUSMCA（米国・メキシコ・カナダ貿易協定）の域内製造コンテンツ要件に準拠するよう取り組んでいます。

この技術は、4Gと5Gネットワーク間をシームレスに切り替えることができ、5Gのカバー範囲が限られている場所や未対応の地域でも途切れることなく接続性を確保します。また、次世代型Wi-FiおよびBluetoothに加え、デュアル周波数対応のGNSS（全球測位衛星システム）も統合し、ドライバーや乗員に対してメディア・ストリーミング、リアルタイム・ナビゲーション、OTA（over the air）アップデートなど、多様なコネクティビティ体験をさらに向上させます。

マレリの電子事業部門で戦略＆製品管理担当副社長を務めるネイト・スラデックは「手頃な5G RedCapは自動車テレマティクスのゲーム・チェンジャーです。4Gのサービス終了、陳腐化、コスト面、米国の規制、USMCA準拠といった現行の課題をすべて解決します」と述べています。「5Gの先進的な接続性を4Gに近い価格で提供することで、特に従来型5Gのフル性能までは不要な車両向けに、手頃なコネクティビティの新しい基準を打ち立てます。」

マレリの「手頃な5G RedCap」ソリューションは、デモンストレーションが可能な状態にあり、2026年初頭には製品サンプルの提供を開始、2028年にはグローバルでの量産開始を目指しています。

参考情報：

5G RedCapテレマティクスの特徴（4Gおよび従来型5Gとの比較）



性能	従来型 5G	マレリの 5G RedCap	4G Cat. 4
帯域幅	< 100 MHz	<20 MHz	< 20 MHz*
遅延	1 ms	~20 ms	~50 ms
データ・レート	< 2 Gbps	< 220 Mbps	< 150 Mbps
コスト	高い（複雑なハードウェアや高度な機能による）	低い（簡素化されたハードウェアと機能の削減による）	中程度（ハードウェアと機能がバランス良く設計されているため）
電力消費	高い（先進機能と高いパフォーマンスによる）	中程度（バッテリー寿命と効率の最適化）	中程度（幅広いデバイスに適している）

*現在は最大 20MHz までですが、4G ネットワークの段階的廃止が始まると、これが大幅に減少します

訳注：当文書は 2025 年 12 月 9 日に発表された英語版プレスリリースの翻訳です。プレスリリースの正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語版が優先されます。

マレリについて

マレリは自動車業界をリードするグローバルなモビリティ・テクノロジー・サプライヤーです。技術革新と卓越した製造において確固たる実績を持つ当社の使命は、お客様やパートナーとの協力を通じてモビリティの未来を変革し、より安全で環境に優しく、より良いコネクテッド・ワールドを創造することです。全世界に約 40,000 人の従業員を擁するマレリは、アジア、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカに 150 以上の施設と研究開発センターを有しています。